

別紙（別記様式第1号関係）

事業計画書

現在の地域課題に対する本事業での実施内容	佐久市常和区では、近年の少子高齢化や台風災害などにより地域の生活環境の維持や地域の活性化が大きな課題である。 地球的な規模での目標であるSDGs社会の実現に向け、地域の特性である里山・農地の再生や地域エネルギー（バイオマス、水力）の活用に着目した取組みを進める。
対象となる人・範囲	対象：常和地区の全住民（約470名）及び広報紙・SNS発信による地区外からの参加者
事業の効果、達成目標（達成目標はできる限り数値で示すこと） 記載ポイント 事業の・公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域エネルギーの自給プロジェクト 間伐材をエネルギーとして利用することによりCO2の削減を図り、地球温暖化防止に寄与する。 間伐材の木質バイオマスとしての活用：1,000束を確保・供給（CO2削減量約10t） ・里山景観の再生プロジェクト 荒廃山林と耕作放棄地の再生により、良好な里山景観を取り戻すとともに、再生されたエリア内をセラピーロードで結びつけ、地区在住者や来訪者のこころと身体の健康維持と増進を図る。 荒廃山林の再生：セラピーロード3kmの倒木処理 耕作放棄地の再生：約2haのお花畑化 ・交流促進プロジェクト 地区内外の交流を促進するため区の自主事業に併せてイベントを実施することにより相乗効果を生み出す。 イベントの開催：ウォーキングイベント等の開催：3回 ・広報・情報発信プロジェクト 取組みを内外に広く発信することにより、より多くの参加者を呼び込む。 地域情報誌の発行：6回
詳細 (活動内容・方法・スケジュール等ができるだけ詳しく、別添資料のある場合はその旨を記載する) 記載ポイント 事業の ・独立性 ・発展性 ・実現可能性 ・団体の自立促進	<p>【年間活動計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域エネルギーの自給プロジェクト 間伐材の木質バイオマスとしての活用 →区民の参加により薪の加工・供給を行う。（5月～12月） 小水力発電の導入可能性の研究 →事例研究・資料収集（通年） ・里山景観の再生プロジェクト 荒廃里山の再生 →間伐、セラピーロード3kmの倒木処理（5月～12月） 耕作放棄地の再生 →約2haを野菜畠、お花畑化（4月～8月） ・交流促進プロジェクト 森林のもつセラピー効果に着目し、地域内外の人々が交流できるウォーキングイベントなどを開催する。 →ウォーキングイベント、写生会、フォトコンテスト（7～11月） つつじ祭り（5月）、野菜収穫祭（11月） ・広報・情報発信プロジェクト 地域情報誌の発行、イベント開催等の情報発信 →広報誌発行（6回） <p>【実現可能性】 3月の区総会で活動計画・予算について承認を得て進めるとともに、多くの区民の参加が得られるようメンバーを募集する。</p> <p>【団体の自立促進に向けて】 区の主体的な活動として継続するとともに、地区内外の人々との交流につなげて発展させる。</p>
重点テーマに該当する理由	重点テーマ4に該当 ゼロカーボン社会の実現に向け、地域エネルギーの活用のための取組みを行う。
翌年度以降の取組	短期・単発的な取り組みでなく、現在の活動を計画的・継続的に発展させ 地域コミュニティの維持・再生・活性化につなげたい。